

星田山手ボランティアニュース

2008年 1月号(創刊号)



星田山手ボランティア・街づくり推進会

発行責任者: 会長 内野 藤彰

編集責任者: 事務局 橋本 勇

はじめに、

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

昨年4月に、「皆で造ろう『元気で楽しい星田山手』を！」のローガンのもとにボランティアグループとして「星田山手ボランティア・街づくり推進会」が発足致しました。現在は100人を超える登録会員を有して皆さん頑張って頂いています。

発足以来、ボランティア活動として「天の川清掃」や「天の川七夕まつり」に星田山手地区として参加し、地域の行事として「ソーメン流し大会」や「盆踊り大会」「山ナリエ」への支援活動をして参りました。又、小中学校の2学期からは登下校の学童らへの見廻りもスタートしました。年が明けると「環境フェスタ」への参加や、自治会行事の「どんど焼き」への支援も予定されています。

本年はボランティアグループ活動の2年目ということで新しい活動も増え、同時に会員同士の親睦を図りながらさらに多くの皆さんのご参加を頂き頑張って行きたいと思えます。

ボランティア活動の実際

ボランティア活動参加人員

月	行 事 名	参 加 人 員
5 月	天の川清掃	20 名
6～7 月	天の川七夕まつり (準備日数は 3日間)	119 名 (延べ人員)
8 月	ソーメン流し大会 (準備日数は 2日間)	50 名 (延べ人員)
8 月	盆踊り大会 (準備日数は 4日間)	150 名 (延べ人員)
11 月	広場の草刈	34 名
12 月	山ナリエ (準備・警備等日数は1か月以上)	355 名 (延べ人員)

ボランティア活動の詳細(抜粋)

「天の川七夕まつり」に参加しました

6～7月にかけて多くのボランティア会員の皆様の参加を頂き竹の伐り出し、竹灯籠の加工を行い、竹灯籠は地区の子供たちの作った俳句を彫り込んだ大竹灯籠と100組の小さい竹灯籠を作りました。又、七夕直前には子供たちが書いてくれた短冊を付けた笹飾りを作り竹灯籠と一緒に当日天の川に運び、夜に一齐に点灯しました。



「ソーメン流し大会」への支援をしました



本番3日前に近くの竹藪に入り蚊に刺されながらソーメンを流すのに丁度良い竹を伐り出し、ソーメンが流れ易いように仕上げました。当日はボランティアグループのメンバーが水とソーメンを順次竹の中に流し込み、子供達が待ち受ける所に流れ着き、歓声と共に美味しく、楽しくソーメンを食べていました。

「盆踊り大会」への支援をしました

本番2週間前に盆踊り会場の広場の草刈りを行いました。この日は34度と言う夏の暑い日でしたが沢山のボランティアの皆さんのおかげで短時間に終わることが出来ました。盆踊りの前日と当日に亘り、テントの設営、櫓の組み立て、イルミネーションの飾り付け、提灯等の取り付け等々会場の設営を行いました。当日の本番では模擬店や盆踊りの進行に汗だくでした。



「学童の登下校の見廻り」をスタートしました



最近の小学生や中学生の登下校時に於ける安全が問題になっている折、当地区でも2学期から通学路の巡回を始めました。併せて「挨拶運動」の一環として子供たちへの声かけも積極的に行っています。

「広場の草刈」を実施しました

11月の下旬に懸案となっていました広場の草刈りを実施しました。今回は今まで伸び放題になっていた場所も実施でき、防犯上の問題も改善され子供達が遊びの広場として活用し出しています。又、地主さまからも非常に感謝されています。



「山ナリエ」への支援をしました



共通場所(5丁目階段、自治会館)へのイルミネーションの飾り付け、警備テントの設営、点灯期間に於ける警備、駐車場への車の誘導等多くのボランティア会員の皆様のご協力で事故もなく無事終わることが出来ました。

今後のボランティア活動

本年以降のボランティア活動としては、これまでの活動をさらに充実して行くと同時に新しく、

傍示川の整備(桜の保全、遊歩道の確保)

広場のさらなる活用

挨拶運動の展開

等を考えておりますが、広く皆さんからのご提案を頂き今後の活動のテーマとして行きたいと思っております。

その他

これまでのボランティア活動の実績を踏まえて今回「松下電器ボランティア・市民活動支援プログラム」のご協力を頂くことになりました。こんご一層、出来ることからお互い支え合いながら「元気で楽しい星田山手」を造って行きましょう！